

ママ友の
笠間 章子さん

お口のプロが近くに来てよかった！話を聞いてもらえると安心します。今日もフロスのやり方を再確認してくれました♪



1度火がついたからには、 もうためらいません！



Goodbye
Perio Project



DH 村上 淑子さん

現在、2人目のお子さんを妊娠中の村上 淑子さん。子育ての合間をぬってグッペリ活動を行ない、イベントの企画にも携わっています。もともと行動派の村上さんですが、活動参加を決めるまでにはかなり悩んだそうです。1歩踏み出すことで、どんな世界が切り拓けたのでしょうか？

歯科衛生士としての達成感が
背中を押してくれました

初めてグッペリの活動に参加したのは、2年前。何事も思い立ったら即行動。の私ですが、歯科衛生士として医院の外で何かすることに關してはためらいを感じていました。歯科医院の中でしか患者さんと接してこなかった自分が、一般の人にうまく歯周病予防を伝えられるだろうか。そんな不安で、なかなか1歩が踏み出せなかったんです。

ところが、1人目の子を妊娠している間に気持ちの変化が起きました。あるとき、母親学級で同じグループになったご夫婦に歯科衛生士だと伝え、キシリトールやフロスの話をすることがあったんです。すると、二人ともすごく関心を持ってくれて。連絡先まで交換しました。すでに歯科医院は退職していたので、久しぶりに歯科衛生士としての達成感があり、うれしかったですね。

この経験を通して思っただんです。私は自分の口腔内の変化がわかるし、健康な状態を保つためのケアも知っている。でも普通の人は何か問題があらわれるまで気づけず、気軽に聞ける存在も近くにいないんだあって。歯科衛生士として、情報を伝えるチャンス

活かさなければと感じました。そのタイミングで、ちょうど近くの企業でグッペリ活動をやると知らせが。もうためらいはありませんでした。後悔はしたくないと思い、参加を決めました。

いつかくる復帰に向けて、
活動を続けていきたい

はじめて活動に参加した感想は、「やってよかった！」ですね。情報を伝えたりフロスを指導したりすることで、一般の方が歯周病予防に關心を持ってくれました。「ありがとう」と言ってもらえるたび、歯科衛生士としてのやりがいを実感。ぜひまたやりたいという気持ちが高まってきました。

それからはやる気が火がつき、チャンスがあれば迷わず参加しています。2回目にお手伝いした親子向けのグッペリ活動では、自分の経験を活かしてお母さんたちに情報を伝えることができました。すると、今度は自分の周りのママ友にも伝えたくなくて。3回目に思いきって児童館の館長さんに相談し、企画を立ち上げたんです。結果は好評。「あれからフロスが手放せない！」

ママ友たちからそう言ってもらえると、うれしいですね。実はこれまで、あえて自分から歯科衛生士だと言っことはなかったんです。でも求めて

旦那さんの
村上 諭さん

フロスを伝えるための
ツールは旦那さんお手
製！活動に積極的に協
力してくれています。



くれていてとわかり、最近はずいぶんよくオススのフロアフロスなどを伝えています。親が正しいケアを知っていれば、子どもの歯も守れる。みんなの力になっていれると思うと、最初の1歩を踏み出してよかったなあとつくづく思います。出産や子育てで一度仕事から離れると、なかなかモチベーションを維持するのは難しいですよね。知識や技術にも、自信がなくなってしまう。だからこそ、こうして歯科医院以外で活躍できるチャンスは貴重。これからもどんな活動に参加して、いつかくる復帰のために歯科衛生士としての熱意を持ち続けます！